



第 22 号

佐倉市臼井地区社会福祉協議会 発行者 左奈田雄一 編集 広報事業部

～ 24 年度活動に向けて ～

臼井地区社会福祉協議会会長 左奈田雄一

東日本大震災と福島原発事故から、すでに 1 年 4 ヶ月が経ちましたが、復興は遅々として進まず、また放射能のため生まれ故郷に帰れない方が大勢いらっしゃいます。被災された方々の心情を察するに、かける言葉もございません。さらに政治の混迷から抜け出せず日本はどこへ行くのでしょうか。この言葉は昨年と同じ時期にも書いたことを記憶しています。ということは日本は全く変わっていない、進歩していないという気にもなります。

でも我々は地域福祉の活動を休みなく続けていかななくてはなりません。地域の福祉課題は多岐に及び、社協だけでは出来るものではありません、地域の自治会、町内会、高齢者クラブ、子ども会などと協働しながら活動することが不可欠となります。そのため秋には公開講座として、佐倉市の福祉政策と課題について、佐倉市の福祉部長に講演していただく予定です。ぜひご参加ください。

臼井地区社協は今年も 75 人の福祉委員でスタートし、各事業部で様々な企画を立てています。

すでに各地で 3 回のいきいきサロンが開催されるとともに、おひとり暮らしの高齢者のためのふれあい型食事が行われました。それぞれに工夫を凝らした内容で来られた方は楽しんでおられました。

終わりに、地区社協の活動の原資は皆さま方が納めていただいた会費から成り立っています。会費納入にご協力いただいたことに感謝申し上げます。

臼井地区社会福祉協議会 決算・予算書 (一般会計収支計算書)			
(収 入)		(単位: 円)	
項 目	23年度決算額	24年度予算額	説 明
市 社 協 支 出 金	2,255,330	2,202,724	市社協よりの交付金
地区社協運営費補助金	1,112,724	1,112,724	市社協よりの交付金
敬老事業配分金	1,142,606	1,090,000	敬老事業の配分金、対象者1,148人
事 業 収 入	109,150	100,000	にぎわい祭り、いきいきサロン、等
寄 付 金	18,000	0	寄付金、等
雑 収 入	129	120	預金利子等
愛 の 箱 積 立 金	52,887	50,000	平成15年度より総合計額346,619円
特別会計より繰り入れ	0	333,478	
前 年 度 繰 越 金	368,428	326,601	
合 計 (1)	2,803,924	3,012,923	
(支 出)			
項 目	23年度決算額	24年度予算額	説 明
運 営 費	792,640	1,133,478	
会 議 費	19,544	20,000	福祉委員会会議費、会場使用料等
事 務 費	157,446	160,000	通信、印刷、封筒印刷、事務消耗品等
事 務 局 員 設 置 費	487,800	490,000	地区社協うすいセンター費(事務職員)
事 務 局 共 通 事 務 費	60,000	60,000	うすいセンター共通経費(電気・電話・修理等)
交 通 費	52,850	60,000	交通費、ガソリン代等
備 品 費	9,000	333,478	コピー機、デジカメ購入等
渉 外 費	6,000	10,000	渉外にかかわる費用
事 業 費	1,684,683	1,755,000	
地 域 福 祉 費	149,928	200,000	
地域福祉費	57,333	100,000	地域福祉に関わる費用
いきいきサロン事業	92,595	100,000	いきいきサロン事業費
高 齢 者 福 祉 費	155,407	185,000	
高齢者事業	155,407	185,000	昼食会、配食サービス他高齢者事業費
障 が い 児 者 福 祉 費	6,100	10,000	障がい児者福祉事業費
児 童 福 祉 費	54,720	60,000	児童福祉事業費
広 報 事 業 費	120,900	140,000	広報事業費(社協うすい)年3回発行等
研 修 費	55,022	70,000	福祉委員研修事業費
敬 老 事 業 費	1,142,606	1,090,000	敬老会事業費
返 還 金	0	0	
地区社協運営費補助金	0	0	
敬老事業配分金	0	0	
予 備 費	0	124,445	
繰 越 金	326,601	0	
合 計	2,803,924	3,012,923	

*** 24 年度敬老のつどいにこいて ***

9 月 26 日 (水) に開催します!

本年度の敬老のつどいは 9 月 26 日 (水) 10 時 30 分から「佐倉市民音楽ホール」で開催予定です。佐倉市内在住の、75 歳以上の方が対象となります。対象者の方には 8 月中旬頃から順次「ご案内状」をお届けいたします。

名簿は、6 月末現在の佐倉市の住民台帳で作成されますので、7 月以降に佐倉市に転入された方には「案内状」が届かないことがあります。75 歳以上で 9 月になっても「案内状」が届かない方は、お手数ですが「うすいセンター」または、地元の町内会・自治会にお問い合わせください。たくさんの方の「参加」をお待ちしています。

2 年度始動！ * 各事業部はこんなことをします*

24 年度の活動も開始され、すでにいくつかの事業は終了していますが、各事業部の今年の活動予定を掲載します。各行事の詳細、実施報告などは、今後の広報紙やホームページでご報告致します。

24 年度事業計画

全体事業

敬老のつどい(9月26日水)

いきいきサロン事業部

いきいきサロン(年9回)

稲荷台班・うすい荘班・ニッコー班

高齢者・障がい者福祉事業部

ふれあい型食事サービス

いきいの食事会(年2回)

配食サービス(年1回)

新春友愛訪問(25年1月22日火)

施設イベント支援千手園・オリオン他

SOS ネット情報分析と周知

地域福祉事業部

募金活動(赤い羽根・歳末助け合い)

自主財源確保(8月25日土)

うすいふるさとにぎわい祭参加・愛の箱

児童福祉事業部

三世代交流

親子いもほり会(11月3日土)

昔の遊び体験(12月・王子台小)

地域行事支援パトロール

小中学生ボランティア体験支援

広報事業部

広報紙発行(年4回)

広報紙以外の活動

ホームページ作成 活動ハネル

各種チラシ・ポスター等の作成 取材

研修事業部

福祉委員対象研修

新福祉委員研修、福祉委員研修(視覚障がい者の生活を知る) 救急救命 市外施設見学

全体研修(公開講座)

佐倉市の福祉施策と課題について

あなたの街の福祉委員は？

24年度はこのメンバーでいろいろな事業を行っていきます。よろしくお願ひいたします。

本年度の福祉委員 75 名の名簿です。

八幡台		ニッコー団地		臼井中宿		稲荷台 3丁目	
上田美智子	町内会 自治会	新井 重一	福祉協力者	高橋 隆一	福祉協力者	五十嵐 照雄	町内会 自治会
大谷 芳功	民生 児童委員	近藤 熊吉	福祉協力者	河端 一孝	町内会 自治会	稲垣 正幸	民生 児童委員
大橋 郁	福祉協力者	末永 孝雄	福祉協力者	武田 定夫	福祉協力者	稲荷台 4丁目	
大橋 和雄	福祉協力者	末永 ヨシ子	福祉協力者	臼井下宿		佐藤 直子	福祉協力者
佐藤 喜美子	民生 児童委員	田中 洋彦	町内会 自治会	岡野 敦	主任児童委員	佐藤 正史	福祉協力者
左奈田 雄一	福祉協力者	真崎 軍平	福祉協力者	関 友二郎	町内会 自治会	吉田 茂	町内会 自治会
高田 昭恵	民生 児童委員	増澤 秀典	福祉協力者	八田 進	福祉協力者	アパガ・デ・ソプレイ臼井駅前	
永井 博治	福祉協力者	松本 伸	民生 児童委員	臼井新町		阿部 和子	民生 児童委員
永瀬 博子	福祉協力者	野口会		川島 弘	福祉協力者	伊藤 公一	町内会 自治会
長谷川 榮一	福祉協力者	飯島 康弘	民生 児童委員	萩尾 征雄	町内会 自治会	島田 友昭	福祉協力者
臼井田		大山 伸行	福祉協力者	山部 紘	民生 児童委員	ライオンステーションうすい	
伊藤 迪行	福祉協力者	及部 文夫	福祉協力者	ヒューマンスクエア臼井		池田 菊子	町内会 自治会
菅原 勝徳	町内会 自治会	嶋田 勝己	福祉協力者	大財 敬子	町内会 自治会	臼井西中学校	
島 弘幸	福祉協力者	田中 賢治	町内会 自治会	稲荷台 1丁目		井上 一弘	校長
塚本 正人	民生 児童委員	宝田 雅弘	福祉協力者	相川 正子	町内会 自治会	臼井小学校	
臼井台		八木 方	福祉協力者	大内 明美	福祉協力者	杉本 勉	校長
浅田 くに	福祉協力者	臼井上宿		三村 富美子	福祉協力者	王子台小学校	
立原 千代子	民生 児童委員	岡本 久幸	市高連臼井支部	三代川 時子	民生 児童委員	吉川 容司	校長
田仲 知代	福祉協力者	小川 弘志	町内会 自治会	稲荷台 2丁目			
中屋 時博	町内会 自治会	沢口 滋男	福祉協力者	柴倉 紀美代	福祉協力者		
山田 淳子	福祉協力者	塚本 清一	民生 児童委員	中野 恵美子	福祉協力者		
大名宿		丹伊田 利男	福祉協力者	半澤 洋次	民生 児童委員		
宇田川 光三	町内会 自治会	宗像 マツ子	婦人会代表	福元 雅子	福祉協力者		
高橋 ヒサ子	福祉協力者	渡辺 秀夫	福祉協力者	森山 晋子	町内会 自治会		
		渡辺 菊江	福祉協力者				

臼井地区社協 活動報告

24年度の活動も始まり、すでいくつかの事業も行われました。ここでは活動内容を写真で紹介します。



福祉委員定例会



新福祉委員研修



福祉委員研修
「視覚障がい者の日常を知る」

24年度	4~7月	臼井地区社協行事一覧	実施内容
4月	2日(土)	第 1 回理事会	23年度決算・監査報告 / 定例会レジメ
	28日(土)	第 1 回福祉委員定例会	委嘱状交付 / 23年度決算・監査報告
5月	12日(土)	新福祉委員研修会	市社協・地区社協の役割 他
	12日(土)	第 2 回理事会	24年度予算編成案
	18日(金)	臼井社協冊子印刷 製本作業	於 八幡台会館
	19日(土)	第 2 回福祉委員定例会	24年度予算案 / 各事業部計画
6月	23日(水)	ニッコー会館サロン	アコーディオンで歌いましょう 他
	9日(土)	うすい荘サロン	歴史の話 体操 歌 (キーボード)
	12日(火)	いこいの食卓会	健康相談 講話 ゲーム
	23日(土)	稲荷台 2 丁目町内会館サロン	アコーディオンで歌いましょう 体操他
	30日(土)	第 2 回福祉委員定例会	24年度敬老のつどい骨子案
7月	30日(土)	福祉委員研修	視覚障がい者の日常を知る
	2日(土)	第 3 回理事会	24年度敬老のつどい実施案
	28日(土)	第 4 回福祉委員定例会	24年度敬老のつどい実施案

いこいの食卓会
6月12日 於うすい荘
(写真下)
今回のプログラム
・介護予防に関するお話
・座って体操
・日本の伝統芸能を
 楽しみましょう
・みんなで歌いましょう



座って体操



民謡・尺八



踊り



うすい荘

100円喫茶サロン参加者数
ニッコー会館サロン 41名
うすい荘サロン 23名
稲荷台1丁目町内会館サロン 22名
*次回は9月6日(木)13:30~うすい荘
*曜日がいつもと違います。ご注意下さい。



稲荷台1丁目会館

ジャスコ・イエローシートキャンベ協力のお願い

ジャスコで毎月11日にお買い物をする、黄色いレシートが発行されるのをご存じですか？

23年度後期(9月~2月)の贈呈が、去る4月8日(日)イオン臼井店2階で行われました。今回は1,125,301円の投函をいただき、今年のサロンで使用する商品(コーヒー、お茶、紙コップ、お菓子等)11,300円分をいただきました。ご協力ありがとうございました。

さて、24年度前半もすでにあと1回になりましたが、現在少々苦戦してます。最近は登録団体も増えていますので、ぜひご協力をおねがいします!! *次回は親子いもほり会のピンゴ賞品をいただく予定です。

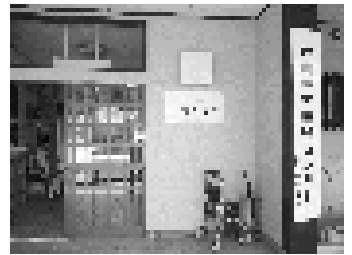
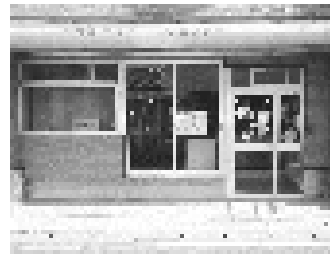
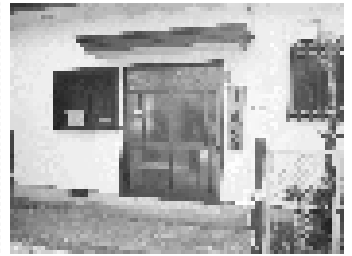
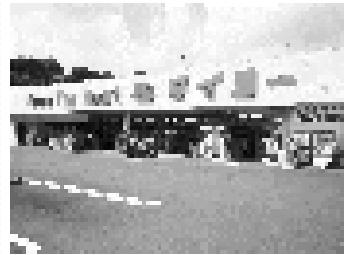
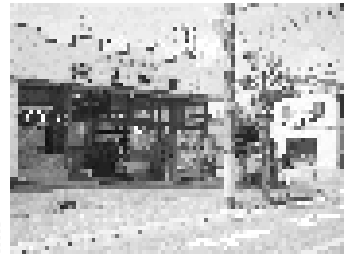
いろいろな団体がありますが、ぜひ「臼井地区社会福祉協議会」と書かれた箱へ黄色いレシートをご投函ください! 今後ともご協力をお願いします。



* 愛の箱について *

23 年度 (23 年 3 月 ~ 24 年 3 月) は 13 箇所の設置とイベント (夏祭り) などで、合計 52,887 円のご協力をいただきました。ありがとうございました。

募金は敬老のつどいなどの臼井地区社協の活動に有益に使わせていただきます。今後ともご協力をよろしくお願い致します。



* 現在、臼井地区社協の「愛の箱」を設置にご協力いただいている場所をご紹介します。

- | | |
|----------|--------------|
| 稲荷台郵便局 | うすい歯科医院 |
| 臼井田自治会館 | 臼井郵便局 |
| 太田堂 | スーパータイヨー佐倉店 |
| ニッコー会館 | 八幡台会館 |
| ファミリーマート | ブランドール |
| 丸進クリーニング | ヤマトヤ本店 |
| 渡辺商店 | (あいうえお順・敬称略) |

* 写真は番号順です。

* 愛の箱の設置場所を募集しています。ご協力いただける店舗、病院がありましたら、うすいセンターまでご一報下さい。(左下参照)

* ご意見はうすいセンターまで *

「うすいセンター」(臼井・王子台・うすい東地区社協合同事務所)
 臼井地区社協担当日は
毎週月曜日・木曜日
 開館時間: 午前9時半 ~ 午後4時半
 (12時 ~ 1時は昼休憩です)
 住所: 佐倉市王子台1 23
 レイクピアウスイ3階
 電話: 043(462)0743
 メールアドレス:
 center-usui@catv296.ne.jp
 ホームページ:
 http://www.catv296.ne.jp/~usui-syakyo/

* 編集後記 *

佐倉市が二年前から取り組んでいる認知症サポーター養成講座の受講者が六千人のこと。認知症予防としての効果はどのくらいか? 最近、全国の市町村で介護予防といふことから、介護保険制度を活用した有償ボランティア活動が活発に行われているようである。

一市一町の制度は始まってから四、五年経っているので各市町村でも成果が現れていると同時に、介護保険料の抑制効果にもなっているという報告もされている。

平成十二年 ~ 平成二十一年の十年間で六十五才以上の被保険者は七百二十万人も増加している。ここまです高齡化が進むと、如何にしたら自分が認知症にならないようにするか、また介護保険の世話にもならないように心がけていくことが切実な問題である。

元氣な高齡者が地域で福祉活動やボランティア活動をする事によって介護支援などの社会参加、介護予防にきざいあふれる地域づくりが出来るのではないかと考えている。

(は)